

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 愛知県豊橋市立芦原小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒441-8155  
愛知県豊橋市芦原町字嵩山地 42 番地の 1

E-mail : ashihara-e@toyohashi.ed.jp

Website : \_\_\_\_\_

児童生徒数：男子 240 名 女子 233 名 合計 473 名  
 児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

#### 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1年生は、生活科で秋の自然物を使った草花遊びを行った。校内には樹木の種類が多く、草花遊びの材料をたくさん見つけることができた。また、校内の樹木の葉を探す「この木なんの木」という活動などで、樹木の名前をたくさん覚えた。そして、校区の高師緑地公園に出かけ、広大な自然の中で思い切り遊ぶ時間をつくった。さらに、子どもたちがいつでも草花遊びができるように、



工作をするための道具や草花遊びについての本を取り寄せて、「草花遊びコーナー」をつくった。そこで子どもたちは、休み時間になると、自分の興味のある遊びを探し、様々な遊びを楽しんだ。

単元を始めるまでは、草花遊びをほとんど知らなかった子どもたちが、草花遊びの面白さを味わい、すすんで草花遊びをするようになった。

2年生は、生活科の時間に年間通して野菜の栽培を行った。野菜が育っていく様子を観察したり、水やりをしたりする活動を通して、育てることの難しさや大変さを実感することができた。また、多くの種類の野菜を育てたことで、生長の様子や葉の違いなどを発見することができた。ボランティアの方の手助けもあり、たくさんの野菜を収穫することができたことで、達成感や喜びを味わえた。12月には育てた大根でおでんを作り、おいしく食べた。野菜の栽培活動で、食べ物を大切にする気持ちが育った。



3年生は、総合的な学習の時間に、校庭で収穫したヤマモモの実を使って、ジャムを作る活動を行った。

実を集める作業では、収穫した実の色の違いに気づく子がいた。友達やPTAのボランティアと協力しながら、異物を取り除く作業や果肉をつぶす作業を通して、作ることの大変さに気づく子もいた。また、ヤマモモの実でジャムができることに感心したり、できあがりのおいしさに驚いたりした。子どもたちは、身近な校庭のヤマモモの樹を通して自然に親しんだ。そしてジャム作りの苦労から食の大切さについて考えることができた。



4年生は、校区を流れる梅田川についての調べ学習を行った。単元の導入として、校歌の歌詞の意味を調べた。芦原小学校の校歌には、「高葦そよぐ梅田川潮とあげくる 魚の群れ」と梅田川やそこに生息する生物についてうたわれている。子どもたちは、「ヨシキリ」という鳥など、梅田川にいる生き物について調べたいという意欲をもった。その後、梅田川の見学に行くと、コンクリートの土手で外来生物のミシシippアカミミガメを見つけた。子どもたちは、調べ学習の中で、このカメが日本に元々いなかった生物であり、在来種の生活に影響を及ぼすことを知った。また、ウナギやコイなど梅田川には、いろいろな魚がすむことを調べ、校区に流れる川への愛着を深めた。



5年生は、「ぼくら命守り隊」のテーマのもと、防災について学習した。

土地が低く、地震発生時には津波の恐れもある芦原の土地柄を意識し、地震や津波に対する備えや発生時に取るべき行動について学習をすすめた。

東日本大震災発生時の映像や防災を学んでいた子どもたちが自らの力での確に避難した映像資料などから、自分たちも避難について真剣に考え、見習おうという意識をもつようになった。

野外活動では、砂浜からの避難や間仕切りダンボールでの宿泊など、避難生活を想定した活動を行った。青少年センターの所長を講師に迎え、新聞紙を使った避難グッズ作りなどにも挑戦し、防災への意識を高めた。



6年生は、コスモスの植栽による緑化を通して、地域の環境美化を進めた。

コスモスの花を満開にして、地域の方や電車に乗る方の心を癒やしてもらいたいと、学校のすぐ近くにある芦原駅のわきや畑を借りて、コスモスの植栽活動をした。初めはポットに種をまき、芽が出たら定植をした。毎朝、子供達はペットボトルに水を入れ、コスモスの水やりにも向かった。夏休みには交代で水をやった。当番でない日にも水やりをする子もいた。こうして秋には、淡いピンクの、きれいなコスモスの花が辺り一面に咲いた。地域の方からも好評であった。子供達も満足げであった。その後種を取り、「6年生を送る会」で、コスモスの種を5年生に引き継いだ。実際にコスモスを育てる体験を通して、自然や地域への愛着を深めることができた。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）